

へきけんニュース

ホームページ http://www.hokkyodai.ac.jp/edu_center_remoteplace/
メールアドレス kus-hekiken@j.hokkyodai.ac.jp
☎ 0154-44-3291 FAX 0154-44-3292



本年度のへき地・小規模校教育研究センターの運営方針及び事業計画を決定しました

へき地・小規模校教育研究センター

へき地・小規模校教育研究センターでは、過日のセンター会議で、本年度の運営方針と事業計画を下記のとおり、決定いたしました。

すでにへき地・小規模校教育研究センターでは、**学生のへき地校体験実習を拡張し、全道で活躍できる人材を輩出すると共に、小規模校で子供とふれ合うなかで教職意欲を高める取り組みを進めています。**また**現職教員への研修講座の実施、へき地教育推進フォーラムの開催及び全国へき地教育研究連盟との共同研究等、学校現場との連携**を強めています。さらに、**全国のへき地教育研究者とのネットワーク化や国際的なへき地教育実践協力**も進めています。

へき地・小規模校教育研究センターでは、全国の関係者と連携しながら、北海道教育大学の特色の一つとなれるように多様な活動を進めています。北海道教育大学の教職員の皆様方には、様々な活動をご協力いただいておりますが、引き続きご支援をよろしくお願いいたします。

令和2年度北海道教育大学

へき地・小規模校教育研究センター運営方針

1. 北海道教育大学におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割と存在意義の明確化

- (1) 北海道教育大学におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割を高め、存在意義を明確にする。
- (2) 北海道教育大学全体の特色づくりの一つとして、へき地・小規模校教育研究および実践を発展させる。

これからのへき地・小規模校教育充実研修
(北海道教育大学函館校) 2019.7.9



2. 北海道及び全国のへき地・小規模校で活躍する学生の育成と教員養成機能の向上

- (1) 北海道教育大学のへき地教育講義・へき地校体験実習を充実させ、北海道及び全国のへき地・小規模校で実践的に活躍できる学生を育成する。
- (2) へき地・小規模校教育を通じて、教職意欲と教育実践力の高い学生を育成する。

3. 北海道におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割と存在意義の明確化

- (1) へき地・小規模校が最も多い北海道において、北海道におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割を高め、存在意義を明確にする。
- (2) 北海道内の教育委員会・学校教育界と連携して、北海道のへき地・小規模校教育研究及び実践を発展させる。
- (3) へき地・小規模校の現職教員研修等を通じて、へき地・小規模校教育の高度なスクールリーダーや担い手教員を養成する。

4. 全国におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割と存在意義の明確化

- (1) 全国唯一のへき地・小規模校教育研究の中核的なセンターとして、全国の中でのへき地・小規模校教育研究センターの研究・研修の役割を高め、存在意義を明確にする。
- (2) 全国の大学等におけるへき地・小規模校教育研究のネットワークを発展させる。
- (3) 全国の大学におけるへき地教育のFD研修活動を発展させる。

5. 国際社会におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割と存在意義の明確化

- (1) 国際的なへき地・小規模校教育研究へのニーズが高まる中で、国際社会におけるへき地・小規模校教育研究センターの役割を高め、存在意義を明確にする。
- (2) へき地・小規模校教育研究センターの国際社会貢献活動を発展させる。
- (3) 開発途上国等からのへき地教育研修団等を受け入れる。

ラオスでの複式学級運営改善事業に関する研修協力
(模擬授業の実演) 2019.12.26



令和2年度北海道教育大学

へき地・小規模校教育研究センター事業計画

1. へき研センターと各キャンパスの連携とキャンパスにおける円滑な運営体制の構築

- (1) へき研センターと各キャンパス運営委員会代表・副代表・運営委員との連携
- (2) へき研センター事務局とへき地教育アドバイザーとの連携
- (3) へき研センターと各キャンパス教育実習委員会・地域連携委員会等との連携
- (4) へき研運営委員からのキャンパス教員への宣伝・協力依頼
- (5) へき地教育アドバイザー3人体制の継続

2. へき地校体験実習の円滑な運営と発展

- (1) 教育大学と北海道教育委員会・市町村教育委員会・校長会・学校との連携
- (2) 学校統廃合による受け入れ校減少に対応した実習協力校の新規開拓依頼
- (3) “道教委から市町村教育委員会へのへき地校体験実習協力依頼”の道教委申し出と連携対応
- (4) へき地校体験実習参加希望者の拡充と宣伝方法の開発（学生間交流・指導教員依頼・ユニパメール配信・ポスター）
- (5) キャンパスにおけるへき地校体験実習参加学生への履修上の配慮の要請（例えばセンター長→キャンパス長→委員会等）
- (6) へき地教育プログラムの修了証発行による学生の達成感・動機づけの向上

3. へき地教育研究の推進

- (1) 公募型へき地教育研究費申請と成果の『へき地教育研究』紀要への掲載
- (2) 特設プロジェクト型へき地教育研究の推進-遠隔双方向教育等
- (3) へき地教育実習が教職意欲の向上につながるという調査研究プロジェクト
- (4) へき地教育図書館活性化事業に関する研究報告書
- (5) へき地教育共同研究成果の刊行書籍費捻出のための学長裁量経費の応募（へき研予算とは別）



へき研出前講座
(大阪教育大学)
2020.2.25

4. へき地教育推進フォーラムによるへき地教育研究・実践成果の普及

- (1) 旭川校でのへき地教育推進フォーラムの再実施計画
- (2) 可能であれば、年度内に第二回へき地教育推進フォーラムの計画

5. 『へき地教育研究』『複式学級における学習指導の手引き』目録等の発行・改訂

- (1) 『へき地教育研究』紀要の継続発行と全国的投稿の拡大による全国誌化
- (2) 『複式学級における学習指導の手引き』の新学習指導要領に対応した改訂（小学校英語・道徳教育・生きる力を含めた新たな内容など）
- (3) へき研センター所蔵目録の整備

6. 各キャンパス大学教員へのへき地・小規模校教育センターの情報提供と協力依頼

- (1) へき研センターリーフレットの活用、へき研センターの活動情報提供
- (2) へき研センター運営委員への勧誘と協力依頼

第2回へき地・小規模校
教育推進フォーラム
(北海道教育大学札幌校)
2019.3.7

7. 全国教育共同利用拠点施設の申請とへき研センターの全国センター化

- (1) 申請書の内実を創造する全国的な取り組み活動の具体化
- (2) へき地教育FD研修センターとしての機能整備
- (3) 外部運営委員会を含めた運営体制の整備
- (4) 専任教員体制・事務職員体制の整備

8. 北海道教育委員会・北海道立教育研究所との連携

- (1) へき地校体験実習の拡大に関する協力依頼
- (2) へき地教育現職教員研修事業（基礎編+発展編）の連携
- (3) 幌延町等のへき地遠隔教育開発プロジェクトの連携
- (4) 道研連共同研究推進委員会との連携



9. 全国へき地教育研究連盟・北海道へき地複式教育研究連盟・学校現場との連携

- (1) 全国へき地教育研究大会・北海道へき地複式教育研究大会への参加と連携
- (2) 各管内へき地複式教育教育研究大会への参加及び共同研究
- (3) 各学校公開研への参加及び共同研究
- (4) 都道府県教育委員会からの教員研修講師依頼への協力

10. 全国の大学におけるへき地教育ネットワークとへき研センターの役割の拡大

- (1) 日本教育大学協会へき地・小規模校教育部門の拡大
- (2) 全国大学へき地教育研究会の創設と拡大
- (3) 他大学出前授業や他大学からの研修事業要請への協力と教員派遣
- (4) 他大学の先進的なへき地教育の取り組みの視察と交流

11. 国際社会におけるへき研センターの役割の拡大

- (1) 国際課と連携したJICAの各キャンパスでの受け入れと講義担当等の協力
- (2) ラオス等東南アジア等の開発途上国への派遣要請への協力
- (3) 外国からのへき研センター訪問団への対応
- (4) 英語版“Multi-grade Education”の印刷配布
- (5) 英語版ホームページの充実
- (6) 日本国際教育学会とへき研センターとの共催公開シンポジウムの開催
(「共生社会における先住民族政策とは-アラスカと北海道の結節点」) (2021年秋)

12. 全国・全道への広報活動

- (1) ホームページにアップするへき地教育関係資料・刊行冊子の拡充（へき研センター紹介および研究実践成果の充実）
各教員からのキャンパスでの取り組みとホームページアップ資料の提案
- (2) へき地校体験実習要項等の学生へのメール伝達
- (3) 学生がすぐにアクセスできるQRコード等の掲示と登録推進
- (4) 「へきけんニュース」の発行拡大・配布拡大とPDF等による広範囲な配信
- (5) へき地校へのへき研センターリーフレットの普及配布（道教委への依頼）
- (6) 全国の大学へのへき研センター利用案内およびセンターリーフレットの普及配布
- (7) 新聞・NHK・民放・教育関係雑誌等への積極的な取材依頼

へき地・小規模校教育研究センターの英語の愛称
“HUE RISE”（ヒュー・ライズ）と命名しました!!

北海道教育大学へき地・小規模校教育研究センター
(Hokkaido University of Education Research Institute for Remote and Small School Education)の愛称“HUE RISE”（ヒュー・ライズ）と命名しました。

「RISE」には「昇る」、「高まる」という意味があるように、本センターのへき地・小規模校教育が、さらに全国や国際的に発展を遂げるよう期待の意味も込められています。

「へき地・小規模校教育研究センター」⇒「へき研センター」と日本語の名称は略しています。

